

地獄遊戯

プレイヤー人数：4人 リミット：3

〈書籍卿〉オーガスタとの禁書を巡る激しい争奪戦に破れた魔法使いたち。しかし、争奪戦に勝利したオーガスタにも異変が起っていた。六分儀市を襲う謎の魔法災厄。六分儀師が地獄へと変貌するッ!?

注意

このシナリオは、第三階梯の魔法使い四人で遊ぶことを前提につくられています。基本ルールブックと『マギカロギア リプレイ 幻惑のノスタルジア』のルールを使用します。

背景

〈大法規〉は、ドイツ東部にあるライブツィヒの古書店に、封印された禁書〈罪人を裁く不条理〉があることを察知します。それを回収するため、二人の魔法使いを差し向けますが、その〈禁書〉を見つけたのは、〈大法規〉だけではありませんでした。旧世界秩序の〈書籍卿〉、オーガスタ・ゴシックも、〈禁書〉の在処を察知していたのです。

中世に生まれたオーガスタは、古い時代を過剰に賛美し、今の世の中を罪にまみれた愚かしい時代だと嫌悪しています。彼は、自分の美意識に反する現代の〈愚者〉たちを罰する「地獄」が必要だと考えました。そして、「地獄」を生み出すと言われる禁書〈罪人を裁く不条理〉にたどりついたのです。

舞台

シナリオの主な舞台は、六分儀市と「地獄」です。この「地獄」は、〈禁書〉が生み出した内的世界で、現存する宗教や神話における「地獄」のイメージが融合したものです。

六分儀市に関する詳しい設定については、『Role & Roll Vol.78』に掲載されています。

準備

このシナリオでは、『幻惑のノスタルジア』に収録された「不幸の渦」の中から選んだ、オリジナルの「運命変転表」を使用します。

地獄遊戯用運命変転表 1D6	
1	不眠。眠れなくなり、疲労する。
2	挫折。自分にとって大切だった夢を諦める。
3	火事。自分の家が焼け落ち、帰るところがなくなる。
4	失明。目が見えなくなる。
5	恐怖。高所や異性、蜘蛛など、特定の何かに対する恐怖症になる。
6	感染。吸血鬼やゾンビなど、怪物になりにかかってしまう。

導入

このシナリオには、マスターシーンと共通の依頼シーン以外に、三種類の導入が用意されています。どのPCが、どの導入を行うかは、PCの設定を考慮して、GMが決定してください。

各シーンの最後に、シーンプレイヤーは【魔力】を決定してください。

●シーン1 勝利の雄叫び

PC二人分の導入シーンです。書警や司書、円卓や戸口などの魔法使いがふざわいでしょう。PCたちは、円卓の直接の命令を受け、ドイツ東部にあるライブツィヒという街を訪れます。この街の古書店「ナーハズィヒト」に、一冊の〈禁書〉があると報告があり、それを回収に来たのです。ライブツィヒは、古くから本の街として知られており、ドイツ国立図書館の一つ、ライブツィヒ館があります。

書籍が無造作に積み上げられた古書店の中に入ると、PCたちは、その中にまった人の気配がないことに気がつきます。よく見ると、レジの奥で店の主人が死んでいます。PCたちがそれに気づくと、店内にオーガスタの声が響き渡ります。

「ふははは。遅かったな〈大法規〉の諸君。〈禁書〉はお先に頂いたよ。これで私は地獄を手に入れる! まずはあの街の罪深き者たちを、不条理と嘆くまで責め抜いてくれる!」

「君たちには別の本を用意しておいた。しばらく遊んでいくといい」

オーガスタが話し終えると、地面に散乱した本の中から、低レベルの〈禁書〉が現れ、PCを襲います(実際に魔法戦を行う必要はありません)。PCたちは、勝利しますが、オーガスタは去った後でした。

ここでGMは、オーガスタ・ゴシックのハンドアウトの【人物欄】を公開してください。このシーンに登場したPCは、オーガスタの名前を関係欄に記入し、【運命】を1点上昇させてください。属性は「宿敵」か「興味」を推奨します。

●シーン2 財布と消失

マスターシーンです。シーン1から数日後、オーガスタの奪った禁書〈罪人を裁く不条理〉が魔法災厄を振りまく場面で。

学校帰りの男子高校生たち。退屈そうにダラダラと歩いていましたが、一人が財布を見つけます。お札が何枚か入っており、拾った少年たちは、使っちゃおうぜと盛り上がります。ふと、そこへ水を差すようにククス笑いが忍び寄ります。凍りつく彼らの耳に「ヌすんだな?」「ああ、ヌすんだ」という声が響きます。そしてその後、少年らはふっと消えていなくなり、声だけが虚ろに響きます。「地獄へようこそ」

●シーン3 憂鬱の少女

このシナリオの被害者である二宮きりとPCが、出会う場面です。舞台は六分儀市になります。きりは、このシーンに登場したPCのアンカーの知り合い、ないしは血縁としてください。血縁とする場合は、苗字をそれに合わせて変更してください。

最近のきりは、周囲に対する不満を我慢することができず、ふとしたことで、すぐに大人に苛立ちを感じてしまうようです。PCは、アンカー

から相談を受けるなどして、彼女の様子を見て欲しいと頼まれます。しかし、今日も今日とて、きりはつれない反応しか見せません。きりは、「こんなヤツ放つとこう」と言って、アンカーと共に街の中心部に向かいます。PCは、去ろうとする彼女の瞳が、無性に寂しそうだことに気づきます。そのとき、PCの元に影原文子からの電話が入ります。

ここでGMは、二宮きりのハンドアウトの【人物欄】を公開してください。このシーンに登場したPCは、きりの名前を関係欄に記入し、【運命】を1点上昇させてください。属性は「興味」か「血縁」を推奨します。

●シーン4 貸した金返せよ

このシナリオの被害者候補の一人、吉村ロミオとPCが、出会う場面です。

今日PCは、吉村ロミオと会う約束をしていました。彼に先日貸した金を返してもらうため、六分儀市にあるカフェ「ATTIC」で、待ち合わせをしているところです。しかし、待ち合わせ時間を三十分過ぎても、現れるどころか、まったく連絡がありません。携帯電話に連絡してもつながりません。何かイヤな予感がしところに、影原文子から呼び出しの連絡が入ります。

ここでGMは、吉村ロミオのハンドアウトの【人物欄】を公開してください。このシーンに登場したPCは、ロミオの名前を関係欄に記入し、【運命】を1点上昇させてください。属性は「尊敬」を推奨します。

●シーン5 依頼

最後にPC全員が、市立図書館に集合して、影原から依頼を受けるシーンを行います。彼女は、PCたちに状況を説明します。

まず、六分儀市にオーガスタ・ゴシックという〈書籍卿〉が現れ、〈罪人を裁く不条理〉と呼ばれる〈禁書〉の力を解放したことを説明します。そして、オーガスタに関して、シーン1に登場したPCに意見を求めます。

影原はPCたちの意見を聞くと、今度は〈罪人を裁く不条理〉の性質を説明します。それによれば、この〈禁書〉は、周囲の人間の罪悪感を利用して、「みんなのイメージする地獄」そっくりの異境を生み出すことができるというのです。

「天涯の調査も始まったところですが、オーガスタの所在は、はっきりしません。しかし、現在六分儀市で起きている謎の行方不明事件が、この〈禁書〉の仕業なのは間違いありません」

「みなさんには、禁書〈罪人を裁く不条理〉の再追跡をお願いいたします。新たな分科会の結成です」

「まずは、オーガスタ・ゴシックを辿る線が有力でしょう。よろしく願いいたします」

上記の説明が終了したら、導入フェイズは終了します。以降は、ルールに従ってメインフェイズ、クライマックスフェイズを演出してください。

■ マスターシーン

このシナリオのマスターシーンは、下記の三種類があります。

●断罪

このマスターシーンは、PCの関係者が次々と「地獄」に引きずり込まれていくシーンです。こうしたシーンは、プレイヤーたちのシーンが二回終わるたびに挿入されます。

GMは、PCたちのアンカーの中から好きな〈愚者〉一人を選んでください。このとき、きりだけは除いてください。

選ばれたNPCは、そのシーンでちょっとした罪——誰かに宿題をうつけせてもらったり、他愛のない嘘を吐いたりといったこと——を起こします。すると、地面から「饒舌な拷問具」、「沼の鬼女」、「翼持つ悪魔」のいずれかの怪物一体が現れて、その罪を責め立てると、彼らを「地獄」に引きずり込もうとします。

このシーンは、予知夢シーンとして扱います。予知判定に成功すると、魔法戦を行うことなく、「饒舌な拷問具」、「沼の鬼女」、「翼持つ悪魔」たちはそのNPCを「地獄」に引きずり込むことを諦めます。しかし、予知判定に失敗すると、このシーンに登場した怪物は、そのアンカーを「地獄」に引き込み、自分の所有物とします。そして予知判定に失敗したキャラクターに、運命変転が発生します。

「饒舌な拷問具」、「沼の鬼女」、「翼持つ悪魔」は、PCのアンカーを自分の所有物とするたびに、その怪物の愚依深度が1点上昇します。

怪物の所有物となった〈愚者〉は、地獄に引きずり込まれてからプレイヤーたちのシーンが二回終わるたびに、「運命変転表」の結果を適用します。もしもその結果によって〈愚者〉が死亡すると、その人物を所有していた怪物の愚依深度がさらに1点上昇します。

魔法使いは、NPCを所有する怪物に魔法戦で勝利すると、所有物となったNPC全員を解放することができます。ちなみに、オーガスタは、「饒舌な拷問具」の所有物となっています。彼は解放されると、PCたちにイヤそうに礼を言うと、「借りはつくりたくない主義だ」と言うと、元型「情熱の魔剣」をくれます。この元型をもらったPCは、シナリオ中に一度だけ、召喚ステップに召喚魔法を使わなければ、「情熱の魔剣」を召喚・使役することができます。

●禁書の叛逆

このマスターシーンは、「饒舌な拷問具」の【秘密】が明らかになった直後に挿入されます。

真っ赤な峡谷の中で、オーガスタが無数の拷問具によって痛めつけられています。その両手両足の指先は潰され、体の至る所が串刺しにされています。

「きさま！ 我が元型の際で、主人に楯突くつもりか！ 裏切り者め」

そんなオーガスタの叫びに、拷問器具たちは、冷たく答えます。

「ご主人様、それは違います。こうしている今でも、わたくしはあなた様の忠実な下僕でございます」

「それゆえに、あなた様の望みを叶えているのでございます」

「はい。あなた様の願い。罪人を罰しているのでございます。哀れな古書店の主人を殺害し、盗難を行ったあなた様自身を」

そう言うと、「饒舌な拷問具」は、より一層、オーガスタを激しく責め立てます。辺りに絶叫が響き渡ります。

●猛火

このマスターシーンは、2サイクル目の最後に挿入されます。

六分儀市のどこか。一人ぼっちのきりりは、「みんな、みんな死んじゃえはいんだ」とつぶやきます。

すると、そこに「沼の鬼女」が現れます。怯えるきりりに、「お前の言うとおりだねえ。この街の人間は、みな罪をおかし、その魂は汚されている。いっそ燃やして綺麗にしてしまおうべきだ」そう言うと、街のあちこちで火の手が上がり、この時点で、「地獄」に引きずり込まれていないPCのアンカーの〈愚者〉全員に、「運命変転表」の「火事」の結果を適用してください。

その後、「沼の鬼女」は、「そして、人の死を願うお前にも、おしおきが必要だねえ」と言って、彼女を「地獄」に引きずりこみ、自分の所有物にします。

■ 地獄

このシナリオでは、NPCだけでなく、場所のハンドアウト「地獄」があります。そのため、ハンドアウト「地獄」が公開されると、PCたちは、そこへ行くことができるようになります。この時点で、「地獄」に関する下記のルールを説明してください。

プレイヤーは、地獄に行く場合、シーンの最初にそのむねを宣言してください。そして、通常のシーン表の代わりに、「地獄シーン表」を使用してください。「地獄」のシーンに、シーンプレイヤーのPC以外のPCが途中から登場することはできません。「地獄」のシーンにはほかのPCが登場する場合、「地獄シーン表」を振る前に、一緒に登場するむねを宣言してください。そして、登場した全員に「地獄シーン表」の結果を適用してください。

また、「地獄」に対して運命変転が発生すると、セッション中に「地獄」が破壊される場合があります。そうなると、その時点で「地獄」にいるキャラクターは、自動的に死亡します。

■ クライマックスフェイズ

異境「地獄」こと、禁書〈罪人を裁く不条理〉との集団戦になります。

PCたちが、〈断章〉をすべて回収していれば、地上に戻ったPCたちの前に、すべての色が失われ、ところどころ壊れた舞台の大道具のようにになっている矮小化された異境「地獄」が現れます。そうでなければ、「地獄」は、PCを内部に取り込んだまま、魔法戦を挑んでいきます。

■ 結末

〈禁書〉の回収に成功すれば、異境「地獄」は消失し、地獄を生き延びた〈愚者〉たちは現実世界に戻ります。記憶はあやふやですが、悪夢

うなされる日々が続きます。オーガスタ・ゴシックは、どうにか「地獄」から逃げ出したようです。しばらくは大人しいかもそれませんが、もちろん理想の「地獄」をあきらめてはいらないでしょう。

回収に失敗すると、魔法災厄なしでも人々を「地獄」へ引き込む門が、六分儀市だけでなく世界中のあちこちに発生します。掃除屋が投入されて事態は収まるものの、PCのシナリオアンカーは全員巻き込まれて死亡・消滅し、その【運命】は疵となります。

地獄シーン表 2D6

1	地獄に耐えられず消滅しかけた〈愚者〉に出会う。誰かの所有物になっているPCのアンカーがいた場合、その人物は、最後の力を振り絞って、あなたの前に現れた。その人はあなたに願いを託して消える。あなたはそれを義務として背負ってもいいし、背負わなくてもいい。
2	
3	ただただ広がる、月も星もない乾いた闇。まるで子供に戻ったかのような心細さを覚える。《絶望》の判定を行う。失敗すると「綻び」の変調を受ける。
4	眼前に広がる業火の海。何もかも喰らい尽くすかのような敵意は圧倒的だ。《炎》の判定を行う。失敗すると【魔力】が2点減少する。
5	やたらと喉が渇く。だが、この地で水らしいものといえば、臭くて濁った液体ばかりである。《雨》の判定を行う。失敗すると【魔力】が1点減少する。
6	ドロリとした血の大河。陰気な生臭さの中、屍が流れて行く。まさに地獄。《旋律》の判定を行う。失敗すると【魔力】が1点減少する。
7	魔法災厄が発生し、新たな犠牲者たちが「地獄」に引き込まれる。ランダムに選んだ特技で判定を行うこと。成功すると好きな魔素が1個発生する。失敗すると、「運命変転表」を適用する。
8	ふと猛烈な飢えに襲われる。周囲には獲物を見る目で互いを見つめる人々が集まってきた。あなたはどうかろうか？ 《肉》の判定を行う。失敗すると【魔力】が1点減少する。
9	なぜか突然に怒りが湧く。今と昔の腹立たしい出来事を鮮明に思い出す。ぎざぎざ。《怒り》の判定を行う。失敗すると【魔力】が1点減少する。
10	吹雪の原野。よく見れば周囲に立つどの氷の柱にも生きたまま人が閉じこめられている。無惨。《別れ》の判定を行う。失敗すると【魔力】が2点減少する。
11	やせ細った老人が木魚を叩きながら練り歩き、アラーを讀めれば救われますとゴスペル調のサンスクリット語で説教している。むちゃくちゃだ。《祈り》の判定を行う。失敗すると「不運」の変調を受ける。
12	魔力の気配。そこにはランダムに選んだ元型「精霊」がいた。その領域の魔素を1点支払うと協力を得られる。シナリオ中に1回、【緊急召喚】が自動的に成功し、その精霊が現れる。

地獄遊戯 ハンドアウト

このハンドアウトを切り取って、使用してください。導入フェイズ終了時には、「オーガスタ・ゴシック」、「二宮きりり」、「吉村ロミオ」の三枚のハンドアウトの【人物】欄が公開されているようにしてください。「オーガスタ・ゴシック」の【秘密】が公開されたら「異境「地獄」」、「異境「地獄」」の【秘密】が公開されたら「饒舌な拷問具」、「沼の鬼女」、「翼持つ悪魔」の【人物】欄を公開してください。

※A4の用紙にプリントアウトした場合、120%に拡大コピーすると使いやすいサイズになるでしょう。

秘密

確かに彼は、〈禁書〉によって「地獄」を得た。しかし経緯は不明だが、彼はいまその「地獄」で罰を受ける側に回ったらしい。以後、魂があげる苦痛の叫びを手掛かりに異境「地獄」へ行けるようになる。異境「地獄」のハンドアウトを公開し、GMは、「地獄」に関するルールを説明すること。

人物

オーガスタ・ゴシック

中世生まれの尊大な白人男性で、旧世界秩序の〈書籍卿〉。古い時代を過剰に賛美し、今の世の中を罪にまみれた愚かしい時代だと嫌悪している。特に〈愚者〉はすべて汚れていると軽蔑している。かつて人々の罪を裁き、恐怖によって道徳を育てていた「地獄」を蘇らせたいと願っている。もちろん、彼の美意識に基づいた「地獄」を。

秘密

「みんな死ねばいい」という愚痴を〈禁書〉に聞かれる。第2サイクルが終了した時点で断章〈裁き〉を回収できていなければ、「地獄」へ引き込まれてしまう。

人物

二宮きりり

小学生の女の子。根は良い子だが最近ちょっぴり反抗期。何が起きても面白くない。

秘密

特になし。ブランク秘密表を適用すること。

場所

吉村ロミオ

男性。日本人とイギリス人のハーフ。気のいい友人だが、いきなり連絡が取れなくなった。

秘密

ここはオーガスタの所有する元型「絶望の王国」そのものである。〈禁書〉の影響で半ば異境に変化してしまった。ここには引き込んだ者を苦しめる連中がいる。「饒舌な拷問具」「沼の鬼女」「翼持つ悪魔」のハンドアウトを公開すること。なお、クライマックスフェイズの魔法戦では、〈禁書〉が元型「絶望の王国」を召喚済みの状態で始まる。

場所

異境「地獄」

ごつごつした岩の転がる荒野が広がる薄暗い世界。オーガスタの知識を元に風景が広がっているが、様々な宗教の様々な地獄が所かまわず混じっている。もはやパロディを通り越し、人間の死生観への冒険に見える。

秘密

その正体はオーガスタの所有する元型「情熱の魔剣」である。断章〈処刑〉に憑依されている。〈処刑〉との魔法戦は、〈断章〉が元型「情熱の魔剣」を召喚済みの状態で開始される。

断章〈処刑〉
初期憑依深度：1
攻：4 防：2 根：3
魔力：5
魔法：【重圧】【煉獄】
特技：《重力》（領域：力）

人物

饒舌な拷問具

「地獄」の住人。その罪人にふさわしい苦痛を与える道具たち。見るだけで暗い気分させられるが、彼らはひどく高いテンションで喋る。

秘密

その正体は、オーガスタの所有する元型「狂気の乙女」である。断章〈裁き〉に憑依されている。〈裁き〉との魔法戦は、〈断章〉が元型「狂気の乙女」を召喚済みの状態で開始される。

断章〈裁き〉
初期憑依深度：1
攻：3 防：3 根：3
魔力：6
魔法：【無心】【霊病】
特技：《腐敗》（領域：闇）

人物

沼の鬼女

「地獄」の住人。悪臭漂う広大な沼に住む身の丈約5mの巨大な女。愚者を玩具にして遊んで、屍を製造している。不愉快なことに、この「地獄」で水と呼べるのは、この沼から流れ出る腐れた液体だけである。

秘密

その正体はオーガスタの所有する元型「叫びの軍団」である。断章〈不条理〉に憑依されている。〈不条理〉との魔法戦は、〈断章〉が元型「叫びの軍団」を召喚済みの状態で開始される。

断章〈不条理〉
初期憑依深度：1
攻：4 防：2 根：3
魔力：5
魔法：【竜巻】【屍型】
特技：《嵐》（領域：星）

人物

翼持つ悪魔

「地獄」の住人。この異境に取り込まれた人々を見つけだし、口汚くののしり、痛めつけ、拷問にかけようと追い立てる。ぬめぬめした鱗や恐ろしい鉤ゾメなど、その外見は凶々しい。